

# 海の危険な生き物

うみ どく  
海には、毒や、するど  
い歯やトゲをもつ生き  
もの  
物がいます。磯あそび  
かいすいよく さい ちゅうい  
や海水浴の際には注意  
しましょう。

クラゲの仲間 応急処置 刺された患部をこすったりせず、触手が残っていたらピンセットなどで取り除き、海水で洗い流す。虫さされ(クラゲ用)の薬を塗るとよい。



●ハネウミヒドラ  
刺されると痛みとかゆみが続きます。



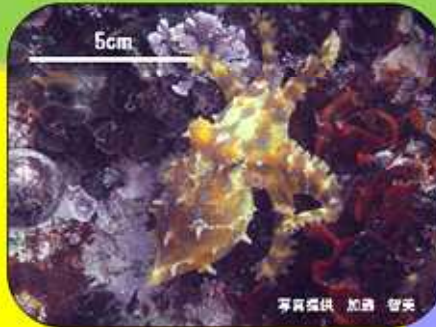
●アンドンクラゲ  
刺されると痛みとかゆみが続きます。



●アカクラゲ  
刺されると痛みとかゆみが続きます。

## タコの仲間

●ヒョウモンダコ  
興奮すると体に青い斑紋が浮き上がります。噛まれるとフグ毒と同じテトロドトキシンという猛毒を持つため、とても危険です。手を出さなければ噛まれることは、まずありませんが、噛まれたら、至急、医療機関で治療を受ける必要があります。



## ウニの仲間

応急処置 トゲを抜き取り、きれいな水で洗い、消毒後、化膿どめの薬を塗るとよい。



●ガンガゼ  
折れやすいトゲを持ちます。素手でさわらないように注意しましょう。

## 魚の仲間



●ハオコゼ  
せびれに毒をもちます。素手でさわらないように注意しましょ



●ゴンズイ  
せびれとむなびれに毒をもちます。素手でさわらないように注意しましょ



●ウツボ  
するどい歯でかまれないように注意しましょ



●アカエイ  
尾のつけねにするどいトゲをもちます。トゲにかえしがあるので刺されると、とても痛みます。

## 海の危険な生物

海には鋭いトゲや歯，毒を持った危険な生物も生息しています。また，万が一，被害に合った場合，適切な対処方法を行わないと，命に関わる危険な生物もいます。海水浴や磯あそびを行う前に，あらかじめ危険な生物に対する正しい知識を知っておきましょう。

「危険」な生物という言葉は，あくまでもヒト中心に考えた言い方で，これらの生物は餌をとるためや，外敵から身を守るために，このような生態をもっています。したがって，基本的にはヒトが不用意に接触しなければ被害に遭うことはほとんどありません。

## 目 次

ハネウミヒドラ .....	3
アンドンクラゲ .....	4
アカクラゲ .....	5
カツオノエボシ .....	6
ガンガゼ .....	7
ヒョウモンダコ .....	8
ウツボ.....	10
ゴンズイ .....	11
ハオコゼ.....	12
アカエイ .....	13
カサゴ.....	14
ミノカサゴ .....	15
アイゴ.....	16



ハネウミヒドラ *Pennaria disticha* (Goldfuss, 1820)

ヒドロ虫綱 ハネウミヒドラ科

大きさ 5-20 cm (高さ)

#### 生息場所

潮の流れの良い岩場に付着して生息する。

#### 症状

素肌が触れると、チクチクとした痛みを感じる。その後、患部はミミズ腫れになる。痛みは間もなくおさまるが、長い間かゆみが残る。

#### 応急処置

患部を海水で水洗いし、虫さされ(クラゲ用)の薬を塗るとよい。痛みが続く場合や患部が広範囲におよぶ場合は、医療機関で手当を受けましょう。





アンドンクラゲ *Carybdea rastonii* Haacke, 1886

箱虫綱 アンドンクラゲ科

大きさ 2-3 cm (傘の長さ)

#### 生息場所

潮の流れの良い海域を遊泳している。打ち上げられて死んだ個体でも毒性は失われていないので、素手で触手を触らないようにする。

#### 症状

素肌が触手に触れると、刺胞で刺され電気が走ったような強い痛みを感じる。患部は赤い線状なる。痛みは間もなくおさまるが、長い間かゆみが残る。

#### 応急処置

患部に触手が残っていたら、こすったりせずに、ピンセットなどで取り除き、海水で患部を洗う（真水で患部を洗うと、触手が残っていた場合、刺胞細胞から毒針が発射され、患部を広げるおそれがある）。虫さされ（クラゲ用）の薬を塗るとよい。痛みが続く場合や患部が広範囲におよぶ場合は、医療機関で手当を受けましょう。



アカクラゲ *Chrysaora pacifica* (Goette, 1836)

鉢虫綱 オキクラゲ科

大きさ 10-15 cm (傘の長さ)

#### 生息場所

主に外洋の海域を遊泳しているが、海が荒れた翌日などには沿岸部に打ち寄せられたり、砂浜に打ち上げられることがある。打ち上げられて死んだ個体でも、毒性は失われていないので素手で触手を触らないようにする。

#### 症状

素肌が触手に触れると、刺胞で刺され強い痛みを感じる。患部は線状のミミズ腫れになる。痛みは間もなくおさまるが、かゆみが残る。

#### 応急処置

患部に触手が残っていたら、こすったりせずに、ピンセットなどで取り除き、海水で患部を洗う。虫さされ(クラゲ用)の薬を塗るとよい。痛みが続く場合や患部が広範囲におよぶ場合は、医療機関で手当を受けましょう。



カツオノエボシ *Physalia physalis* (Linnaeus, 1758)

ヒドロ虫綱 カツオノエボシ科

大きさ 5-10 cm (浮きの大きさ)

#### 生息場所

主に外洋の黒潮流域に生息するが、台風の通過後や海が荒れた翌日などには沿岸部に近づいたり、砂浜に打ち上げられたりすることがある。打ち上げられて死んだ個体やちぎれた触手でも、毒性は失われていないので素手で触らないようにする。

#### 症状

素肌が触手に触れると、刺胞で刺され激しい痛みを感じる。患部は線状のミミズ腫れになる。重度の場合は、頭痛，吐き気，呼吸困難，悪寒などの症状が表れ，長い間痛みが残る。

#### 応急処置

患部に触手が残っていたら，刺激を与えないようにピンセットなどでそっと取り除く（刺激に反応して刺胞が飛び出すため）。患部に抗ヒスタミン系の薬を塗るとよい。重度の場合や症状が改善されない場合は、医療機関で手当を受ける必要があります。



ガンガゼ *Diadema setosum* (Leske, 1778)

ウニ綱 ガンガゼ科

大きさ 5-10cm (殻径)

#### 生息場所

比較的潮の流れの良い岩場に生息する。

#### 症状

トゲが長く折れ易い。トゲにはかえしがあり、とてももろいので刺さるとすぐ折れる。刺さるとするどい痛みを感じ、痛みが数時間続くこともある。刺さった部位によってはリンパ線が腫れ上がり、炎症を起こす。

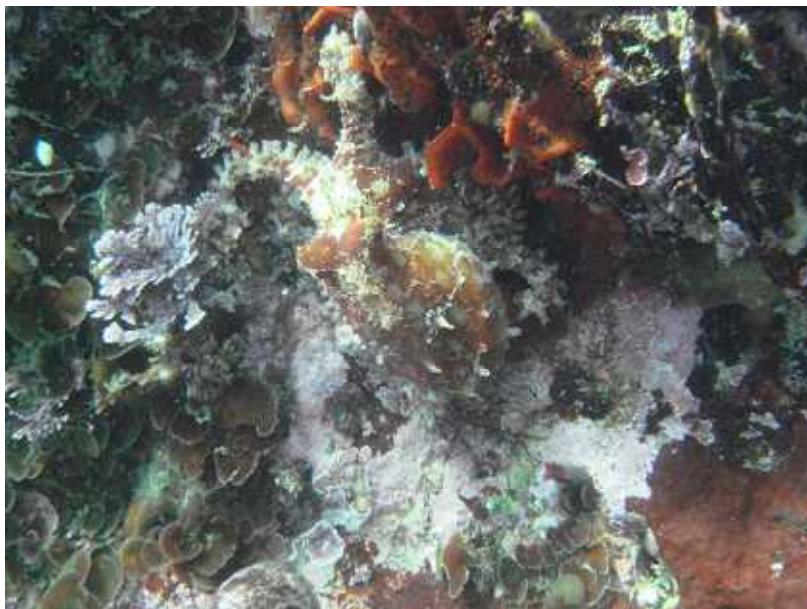
#### 応急処置

トゲをすべて抜き取り、患部を水できれいに洗う。患部に化膿どめの薬を塗るとよい。トゲを取り除く事が出来ない場合は、医療機関で手当を受けましょう。





興奮時、青いヒョウ柄の斑紋が体表に現れる



通常時、周囲の景色に溶け込む目立たない色彩になる

(写真提供 加藤智美)

ヒョウモンダコ *Hapalochlaena fasciata* (Hoyle, 1886)

頭足綱 マダコ科

大きさ 5-10 cm

#### 生息場所

主に岩場の磯から水深 10m ぐらいに生息する体長 10 cm 前後の小型のタコ。刺激を与えると鮮やかな青い斑紋が体表に現れる。こちらから手を出さない限りは、ほとんど噛まれることはないので、見つけても、むやみに捕まえたり、触ったりしない。

#### 症状

フグ毒と同じ神経毒のテトロドトキシンをもつ。噛まれると、麻痺、しびれ、言語障害などを生じ、重度の場合は全身麻痺や呼吸困難を引き起こし短時間で死亡することもある。解毒剤はない。ヒョウモンダコに噛まれた死亡事例が知られている。

#### 応急処置

噛まれた患部から毒を吸い出し、患部を出来るだけ心臓より高い位置におき毒が体内に回るのを防ぐ。至急、医療機関で治療を受ける必要があります。



ウツボ *Gymnothorax kidako* (Temminck & Schlegel, 1846)

魚類綱 ウツボ科

大きさ 50-90 cm

#### 生息場所

岩場の磯から水深 10 m 前後の岩の割れ目や岩穴に生息する。

#### 症状

見かけとは異なり，臆病な生物で，ウツボの住む岩の隙間や穴の中に手や足を入れない限りは，ほとんど噛まれることはない。毒はないが，するどい歯をもつので，噛まれると痛く，のちに患部が雑菌で化膿することがある。

#### 応急処置

噛まれた患部を水でよく洗い，化膿止めの薬を塗るとよい。



ゴンズイ *Plotosus japonicus* Yoshino & Kishimoto, 2008

魚類綱 ナマズ科

大きさ 10-15 cm

#### 生息場所

磯から水深 10 m 前後の岩場や藻場，砂底に生息する。幼魚の時期には，ゴンズイ玉とよばれる群を作るが，成長に伴い，単独で生息する。夜行性のため夜釣りでよく釣れる。死んだ個体でも毒性を失わないので注意する。

#### 症状

背びれと胸びれに有毒のトゲをもつ。刺されると激しい鈍痛を感じ，時間がたつにつれやけどのような痛みが変わる。重度の場合は患部が腫れ上がり，数日間痛みが続くことがある。血圧降下や発汗などの全身症状が起こる場合もある。

#### 応急処置

刺されたら，すぐに傷口から毒を絞り出す。湯に患部をつけることにより，ある程度痛みを緩和することが出来る。痛みが続く場合は，医療機関で手当を受けましょう。





ハオコゼ *Paracentropogon rubripinnis* (Temminck & Schlegel, 1843)

魚類綱 ハオコゼ科

大きさ 5-10 cm

#### 生息場所

主に岩場の磯に生息する。

#### 症状

背びれに有毒のトゲをもつ。刺されると激しい鈍痛を感じ、時間がたつにつれやけどのような痛みになる。重度の場合は患部が腫れ上がり、数日間痛みが続くことがある。死んだ個体でも毒性を失わないので注意する。

#### 応急処置

刺されたら、すぐに傷口から毒を絞り出す。湯に患部をつけることにより、ある程度痛みを緩和することが出来る。痛みが続く場合は、医療機関で手当を受けましょう。



アカエイ *Dasyatis akajei* (Müller & Henle, 1841)

魚類綱 アカエイ科

大きさ 50-90 cm

#### 生息場所

水深 1～10 m 前後の砂底に生息する。

#### 症状

尾びれの付け根に太く長い、かえしをもった有毒のトゲをもつ。刺されると激しい痛みが長く続く。数時間後に血圧低下，吐き気，失神，嘔吐，呼吸困難などの症状が出ることもある。傷口が複雑なため完治しにくい。

#### 応急処置

すぐにトゲを抜き，毒を絞り出す。きれいな水で傷口を洗ったあと，消毒し，化膿止めの薬を塗るとよい。痛みが続く場合は，医療機関で手当を受けましょう。



(写真提供 新江ノ島水族館)

カサゴ *Sebastiscus marmoratus* (Cuvier, 1829)

魚類綱 フサカサゴ科

大きさ 10-20 cm

生息場所

水深 5 ~ 10 m 前後の岩場に生息する。

症状

背ビレ, 腹ビレ, 頭部に有毒のトゲをもつ。刺されると激しい痛みが長く続く。数時間後に患部は熱を持って腫れ上がる。重症の場合は, 発汗, 顔面蒼白, 呼吸困難などの症状が出ることもある。

応急処置

刺されたら, すぐに傷口から毒を絞り出す。湯に患部をつけることにより, ある程度痛みを緩和することが出来る。痛みが続く場合は, 医療機関で手当を受けましょう。



(写真提供 新江ノ島水族館)

ミノカサゴ *Pterois lunulata* Temminck & Schlegel, 1843

魚類綱 フサカサゴ科

大きさ 20-25 cm

#### 生息場所

水深 5 ~ 10 m 前後の岩場に生息する。

#### 症状

背ビレ，腹ビレに長い有毒のトゲをもつ。刺されると激しい痛みが患部を中心に広がり熱をもち腫れ上がる。重症の場合は，発汗，嘔吐，顔面蒼白，呼吸困難などの症状が出ることもある。

#### 応急処置

刺されたら，すぐに傷口から毒を絞り出す。湯に患部をつけることにより，ある程度痛みを緩和することが出来る。痛みが続く場合は，医療機関で手当を受けましょう。





(写真提供 新江ノ島水族館)

アイゴ *Siganus fuscescens* (Houttuyn, 1782)

魚類綱 アイゴ科

大きさ 10-30 cm

#### 生息場所

水深 5 ~ 10 m 前後の岩場に生息する。

#### 症状

背ビレ，胸ビレ，尾ビレに太い有毒のトゲをもつ。刺されると激しい痛みが数時間～数日続く。発汗，嘔吐，顔面蒼白，呼吸困難などの症状が出ることもある。

#### 応急処置

刺されたら，すぐにトゲを取り除き毒を絞り出す。痛みが続く場合は，医療機関で手当を受けましょう。